

ウォーキングMAP



ウォーキングコース

加太駅



1 JR加太駅舎

この駅舎を、令和2年3月に西日本旅客鉄道株式会社より無償譲渡を受けたことから、当時の姿と賑わいを取り戻すべく、地域の皆様とともに改修を行いました。

また、駅舎内には、誰でも気軽に集える憩いの場「加太サロン」を新設しました。



徒歩約10分

2 猪元橋

加太川の北側に線路を敷設するにあたり、大和街道を対岸に付け替えるために建設された国道25号の道路橋です。橋脚は、鉄道構造物に準じたイギリス積みの煉瓦造になり、石材で隅部を強固に仕上げるとともに外観を引き締めます。



↑ 3へ
徒歩約10分

3 屋瀨川橋梁

鋼製3連桁橋、加太地区最長の橋長59.7mを測ります。最も柘植側の鈹桁は、取り付けられた銘板から、大正13年に大阪鐵工所(現在の日立造船)により八幡製鉄所の鉄材を用いて製造されたことがわかります。開業から約35年後、車両の大型化などにより、さらに強度の高い鈹桁に取り替えられました。



↓ 徒歩約5分

4 板屋川橋梁

鋼製2連桁橋、橋長35.4m。加太側に40フィート級、柘植側に70フィート級の鈹桁を深い谷に架けます。橋脚は、石材を「こぶ出し」に仕上げ、五角形断面の上に長方形断面を乗せて「江戸切り」の帯石で引き締め、イギリス積みの煉瓦を立ち上げています。重厚な姿が、加太地区の河川景観を整えます。



↓ 徒歩約4分

5 第165号架道橋

径間長2.5m。笠石を「雁木」で彩り、フランス積みの胸壁には赤煉瓦とやや色の濃い焼過煉瓦を交互に配して「ポリクロミー」と呼ばれる模様を描いています。アーチ最上部に焼過煉瓦を用いて楔状に菱石を表現し、腰部を隅石でコントラストをつけるなど装飾性が高く、小品ながらも見どころに富んでいます。



↑ 6へ
徒歩約13分

6 亀山森林公園やまびこ

この公園は、市内の加太梶ヶ坂地内にある市有林約4.2haを、地元加太コミュニティの方々やかめやま市民大学院第1ゼミ生とともに作成した「亀山森林公園環境整備構想」に基づき、平成20年度から3年かけて、加太の自然がそのまま活かされるように整備しました。



↓ 徒歩約4分

7 梶ヶ坂峠

集落から西に通じる峠道は、周辺では唯一地道が残っており、往時の面影を残しています。



↓ 徒歩約14分

加太駅

